

和



柴田町立船迫中学校

第1学年通信

令和2年10月1日発行 NO. 8

文責 澤田知美

新人大会 堂々と戦ってきました！

9月26日・27日に郡新人大会が行われました。7月の交流会では、出場した生徒や会場で応援できた生徒が少なかったため、多くの生徒は今回の新人大会が初めての公式戦となりました。大会がどういふものなのか分からず、緊張した生徒も多かったと思います。そのような中でも、今できることを精一杯頑張り、正々堂々と戦ったり、チームのみんなを応援したりできました。自分の課題を見つけ、次の目標を立てた生徒もいたようです。これからの活躍が楽しみです。



新人大会・吹奏楽演奏会を終えて①

(生徒たちの振り返りを一部紹介します)

- ・今回僕たちにとって初めての新人大会となりました。野球部は2年生5人、1年生3人で練習に取り組んできました。吹奏楽部の徹真君の力を借りて試合をすることになり、ようやく試合のできる状態になりました。試合当日大河原中はバントで攻めてきて、僕たちはあまり経験がない人たちなので苦しい試合になりました。さらに自分はピッチャーなので投げ続けなければいけません。それでも苦しい場面もみんなで乗り越えて頑張りました。残念ながらコールドで負けてしまいましたが、このくやしさをバネに来年の中総体に向けて一生懸命に練習していきたいです。【野球部 大槻雅也くん】
- ・私は応援でしたが、応援をしていて改めていろいろなことを学びました。試合に出ている先輩の動きを見て、自分がまだできていない動きやラケットの振り方などを学びました。応援のときには拍手をたくさんして、先輩たちの応援ができたので良かったです。新人戦で見た先輩達の動きを参考にして、これからの部活に励んでいきたいです。【バドミントン部 北村麻衣さん】
- ・僕たち卓球部の1年生は、団体戦や個人戦で、先輩たちが戦う場所にに応じて場所を移動して応援をしました。なかでも準々決勝からは1年生もとてもどきどきしながら応援をしました。新人大会で先輩達が勝てるように全力で応援することができました。【卓球部 國保優好くん】
- ・新人大会を終えて私はたくさんの事を学びました。仲間を信じる大切さや協調、そして他校の方の技術です。私は2回戦敗退になってしまいましたが、負けてしまった2回戦目では今までの試合の中で、個人的には1番粘り続けたとても良い試合になったと思います。この大会を通して自分の課題をたくさん見つけられ、改善点も考えられてとても良かったです。これからの部活動の時間はその課題を一つ一つ考えながら行っていきたいです。【ソフトテニス部 安藤日愛さん】
- ・僕がこの新人戦に向けて立てた目標は、「周りに流されず、自分の剣道をする」でした。会場に着くと一気に緊張が高まり、思うように動けなかったのですが、個人戦では小手を一本取れたので良かったです。ですがこれに満足することなく、次の公式戦に向けて日々の稽古を大切にしていきたいです。【剣道部 駒板循一くん】
- ・演奏会を終え、現在1年生と2年生のみの新体制となりました。3年生が引退し、少し寂しいですが次に控えているイベントに向けて気持ちを切り替えて練習を頑張っていきたいです。【吹奏楽部 藤波芽生さん】



迫中祭に向けて

10月18日(日)に行われる迫中祭に向けて、準備や練習が本格的に始まっています。各学級4名ずつ選出された実行委員のみなさんは、機動隊、招集係、広報・装飾係、競技係の4つの係に分かれて、1学期から少しずつ準備を進めてきました。体育の授業では学年の表現種目(演舞)の練習も進んでいます。今日からは、選手の選考を始め、来週から学年練習や縦割り練習などが始まります。毎年船迫中学校が一丸となって盛り上がる迫中祭。学級・学校の絆を深めていってほしいと思います。